

# 金城大学短大だより

No.54

平成25年 6月20日発行

金城大学短期大学部 白山市笠間町1200番地〒924-8511 Tel.076(276)4411

URL:<http://www.kinjo.ac.jp/>E-mail:[tandai@kinjo.ac.jp](mailto:tandai@kinjo.ac.jp)

## 平成25年度 体育祭



5月10日、今年度も、学友会と体育委員による体育祭実行委員会が企画・準備を進め、活気ある体育祭が行われました。3年ぶりにグラウンドで行われた開会式では、幼児教育



学科の2年生男子が堂々と誓いを述べ、競技がスタートしました。先生方も競技運営をサポートしたり、応援に回ったり、学生との一体感を思わせる熱戦が繰り広げられました。近年、幼児教育学科の活躍が目立つ中、綱引きの決勝では美術学科の優勝が目前という場面もあり、大いに盛り上がりました。また、円陣を組みながらクラスの団結力を高めるクラスも多くみられ、短大部らしいまとまりのある楽しい体育祭が展開されました。総合成績は、優勝幼児教育2B、2位幼児教育2A、3位幼児教育1Bでした。

平成25年度  
入学式

4月2日、晴天の中、金城大学短期大学部の平成25年度入学式が、白山市松任文化会館大ホールにて挙行されました。

今年度も、美術学科45名、幼児教育学科166名、ビジネス実務学科99名、専攻科福祉専攻22名、美術学科研究生13名、留学生別科4名と、合計349名の新入生を迎え入れることができました。

加藤晃理事長による金城学園の教えを交えながらの告示、中山治



男学長による式辞に続き、遊学館高等学校の卒業生で幼児教育学科の笹川史織さんによる新入生宣誓がありました。新入生の2年間の学生生活に期待を膨らます気持ちが伝わってきました。

平成24年度  
卒業式

3月16日、白山市松任文化会館において平成24年度卒業式が開催されました。

保護者の方や来賓の方々から多くの祝福を受ける中、幼児教育学科152名、美術学科71名、ビジネス実務学科110名、専攻科福祉専攻26名、留学生別科3名、美術学科研究生8名、が本式に臨みました。合計370名の卒業生を代表し、



ビジネス実務学科の栗井柚佳里さんが、2年間の学生生活を通して、親への感謝、恩師への感謝、友達への感謝を述べ、新たな出発の決意を誓いました。

式典終了後にはクラス毎へ控室に戻り、クラス担任から修了証だけでなく、あるクラスでは1人1人メッセージのこもった色紙や手紙を手渡されたりと、感動のシーンが続きました。

2年間学んだことを糧に、皆様のご活躍を教員一同心より願っています。卒業おめでとう。



## 新任教員紹介



ビジネス実務学科

中原亜紀美

私は、この3月に岡山県にある大学院修士課程を修了し、本学ビジネス実務学科に着任いたしました。大学院では医療秘書学を専攻し、秘書学、医療秘書・事務についての研究をしてまいりました。

現在は、秘書実務演習や秘書技能検定対策講座を担当しております。私自身、学生時代に秘書技能検定や医療事務に関する検定を取得しており、学生との年齢差もそれほどありませんので、身近な教員として少しでも学生の皆さんのお役に立てればと願っております。これから、先輩の先生方に教えていただきながら、学生の皆さんと共に自分自身も成長していけるよう努めてまいります。どうぞよろしく願いたします。



### 幼児教育学科 新入生合宿研修

4月4日(木)～5日(金)に国立能登青少年交流の家で、1年生167名(全員)と2年生リーダー25名が参加して行われました。入学当初のガイダンスを兼ねた研修で、本学の「建学の精神」や本学科の「教育方針・内容」「幼児教育の意義や責任」などの早期理解とクラスの親睦を目的に行いました。本年度は、新たな取り組みとして2年生リーダーの育成にも力を注ぎ、徹底した事前研修会を繰り返し、2年生リーダーがすべての日程を担当しました。研修スタートから落ち着いた表情と姿勢で新入生を誘導し、新入生たちも『先輩たちの指導力に感心した。手遊び、パネルシアター、体操、本当に感動した。自分でできることは自分で行動し、自立した学生生活を送りたいと思えた。この二日間で、絶対に保育者になりたいという決意が固まった。』など、修学姿勢への理解が笑顔で深まっていきました。講話においても真剣さが見え、1年生の安堵感と希望の表情を伺わせた有意義な研修となりました。



### ビジネス実務学科 新入生合宿研修

4月14日、15日の2日間、ビジネス実務学科1年生の「新入生合宿研修」が行なわれました。参加者は全1年生・2年生リーダー20名、教員12名でした。今年度で9回目となる新入生合宿研修では、「ビジネス実務における自己表現と基本マナーを身につける」「友達ネットワーク」をテーマとし、学科長の講話にはじまり、レクリエーション、キャリアデザイン総論、SNS、喫煙、飲酒に関する講義、ウォークラリー／野外散策などの研修、最後には野外炊飯を行いました。全体を通して「友達が増えてよかった」という声が多くきかれました。



## 地域連携・貢献センター事業 第8回地域子育て支援フォーラム

年1回行われる本フォーラムを、24年度は2月16日(土)に「地域で支える子育て～魅力ある地域社会をめざして～」と題して開催しました。はじめに、本学の野田准教授より「子育ての社会的環境を巡る問題と支援の可能性」と題して話題提供を行い、続いて白山市内保育士や地域児童民生委員らが「子育て支援に関して抱える課題と取り組みの工夫」についてパネルディスカッションを行いました。それらを受けて、フロアの参加者が小グループに分かれて熱心なディスカッションを展開しました。白山市内の行政・保育者・児童民

生委員など、子育てに関わる様々な立場にある約30名の参加者からは、「普段知り合うことのなかった方と話し合うことができ、つながっていくという事の大切さを感じた。」「同業者ばかりの研修と違って、他の業種の方の話を聞いていろいろな事がわかり、参加できて良かった。」という声がかれました。



## 平成24年度 幼児教育学科年報「リカレント教育」

昨年度より幼児教育学科の新しい事業として導入した既卒者・現職保育者に向けてのリカレント教育が2年目を迎えました。受講生は、乳児保育2人(発表は1人)、障害児保育4人、音楽1人合計7名でした。受講生各位は熱意ある授業の成果を、1月24日(木) 幼児教育学科2年生に向けて研究発表し1年間のまとめとしました。(下欄にテーマを一覧表にしました)リカレント生は豊かな経験に基づきレベルの高

い研究発表をし、聞いている本学の学生にとっても良い学びとなりました。また、当日はリカレント生を送り出してくださっている保育園の園長先生を初め、小松市発達支援センターなど、学外からのご参加を頂きこの事業へのご理解を頂けた様です。

本年度は、本学卒業生が多く受講生として名を連ねて下さり、6名の皆さんを受け入れてスタートしました。

|       | 研究テーマ                                      |         |
|-------|--|---------|
| 乳児保育  | ① 育児不安と親のアイデンティティの問題<br>～子育て支援現場からみえてきたもの～ | (宮川美智代) |
| 障害児保育 | ① 娘から学ぶ「支援」と「社会の在り方」                       | (森松 多加) |
|       | ② ともだちといっしょをめざして<br>～保育者としての支援をさぐる～        | (坪田紗緒里) |
|       | ③ 支援室利用の未就園児との関わり<br>～母親との関係性を広げることを視野に～   | (橋場 有紀) |
|       | ④ 学童の立場から                                  | (山岸加奈子) |
| 音楽    | ① 学生と幼児の合同舞台発表への取り組み                       | (坂本 里香) |
| 美術    |  |         |



## 平成24年度 地域連携促進事業成果報告会

平成25年3月12日(火)、幼児教育学科三浦ゼミが、



地域連携  
促進事業  
「白山市山  
間部にお  
ける世代

間交流事業」について成果報告会を開きました。会には、事業に協力していただいた白山市役所やNPO法人おやこの広場あさがおのスタッフに加え、事業による様々な活動に参加してきた白山市の親子も来場されました。学生が中心となって一年間の活動の報告を行い、参加者全体で今後の活動について検討しました。地域連携促進事業は24年度で終了しますが、今後も交流活動を継続していく予定です。

## 地域連携アクティブフォーラムで 「優秀賞－畠山賞－」を戴く 和泉・百海ゼミ

平成25年2月8日(金)・9日(土)の二日間、珠洲市において「域学連携サミットin能登」が開催されました。それと合同開催となったのが、大学コンソーシアム石川の「大学地域連携アクティブフォーラム」です。

このフォーラムで、幼児教育学科、和泉・百海ゼミ(ゼミ長:本田麟太郎)は、小松市立第一保育所との連携の成果を報告しました。

5歳児中心とする、地域の教育力を活かし

た「自然体験・科学体験を通して育つ子ども～わくわくサイエンス～」の活動が高く評価され、見事「優秀賞－畠山賞－」を獲得しました。かなり突っ込んだ質疑にも的確な応答ができ、発表者は賞讃を得ました。

この実績をもとに、本年度も、小松市の要請を受け、和泉・百海ゼミは地域課題研究に取り組んでいます。



## 幼児教育学科 国内研修

今年度で3回目となる東海大学短期大学部児童教育学科との国内研修が、3月13日(水)～14日(木)に行われました。東海大学短期大学部から、学生9名、本学からは学生14名が参加しました。今年度は、初めて本学を研修会場にして実施されました。中山学長の歓迎の挨拶



の後、1日目の午前中は白山市の「げんきっこ」を訪問し、乳児保育や子育て支援広場で、実際に乳幼児とかわりました。新しく導入された短大棟食堂のアクティブラーニング用の椅子とテーブルを利用して、グループに分かれ話し合いを重ねました。夕方からは、シーサイド松任に会場を移し、天然温泉も楽しみながら夜遅くまで研修を実施しました。東海短大は、全国から学生が集まっており、同じ保育を学ぶ「異文化」の学生同士が交流することで、学生の視野も広がり、保育者を目指す学生にとって、かけがえのない体験となっています。今後とも様々な交流を展開していきたいと考えています。

第34回 幼児教育学科ステージ発表  
**Waku Waku World**  
 2013年1月19日(土) 金沢市文化ホール

短大創立と同時にスタートしたコーラス部の定期演奏会は、回を重ねるごとに幼児教育学科全体のステージ発表会としての性格を強め、今回よりタイトルを改め開催いたしました。

プログラムは、2年生全員出演のクラス別ステージ。2年生3名によるピアノ独奏、連弾。西南幼稚園のかわいい園児と、特化音楽履修学生との協演ステージ。操演部による着ぐるみ操演「赤いリボンのおくりもの」。マーチングステージドリル(特化音楽履修生・マーチングバンド部)。2年生全員による英語ミニミュージカル「よくばり天狗(ガート・ウエスタハウト先生作)」。と2年生総出演で若さ溢れる感激いっぱいの発表となりました。特に特化音楽履修生は多くのステージに頑張りをみせ、この経験をこれから保育現場において発揮してくれるものと期待もふくらむ一夜でした。



第12回ファッションショー  
**Kinjo Art Show Case**

今回で12回を数える美術学科ファッションコースによるファッションショーが3月3日、金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにおいて開催されました。

ファッション専攻学生



自分で染めた作品、着くずした浴衣などパラエティーにとんだ作品が披露されました。

またダンス部のパフォーマンスや、学生の制作による映像が舞台を盛り上げました。



5名と染色専攻3名の計9名、約50点の作品発表を行いました。

白を基調とした女性らしい作品や、刻々と変化する空をテーマとして生地を



## 金城学園白山美術館行事予定

- 平成24年度金城大学短期大学部美術学科  
第36回卒業制作展選抜展  
4月25日(木)～5月27日(月) 火曜日休館
- 高野 實 WORKING 展  
7月4日(木)～7月28日(日) 火曜日休館

- 白山日創展  
9月4日(水)～10月6日(日) 火曜日休館
- アカデミア金城2013+研究生展  
10月10日(木)～10月28日(月) 火曜日休館
- 地域美術演習 成果展  
11月7日(木)～11月25日(月) 火曜日休館

## 金城ビジネス学会 第3回年次大会

ビジネス実務学科2年生が1年間の研究成果を発表する「金城ビジネス学会第3回年次大会」が、2月5日に開催されました。全員が登壇してメモを見ずにスライドを使って発表を行うという本当の学会さながらの催しです。「産学連携ゼミナール」ということで、いくつかの研究で地域企業の協力をいただきました。

当日は、新聞社やテレビ局の取材を受けた発表もありました。また、はじめての試みとして、全発表者がポスターセッションを行い、昨年にも増してたいへん活気のある発表会となりました。



## ゼミナール 学内団体紹介

ビジネス実務学科の大屋ゼミでは、「子どもの貧困」、「夫婦の役割分担」を研究テーマとしています。現在は、文献読みとインターネット等での情報収集をしています。貧困問題も夫婦の役割分担も問題点は多く、8人の学生とともに良い関係を築きながら考えを深め、このテーマをどんな風に展開させてくれるのかを楽しみに共に学んでいきたいと思えます。

ビジネス実務学科の井戸ゼミでは携帯端末とクラウドサービスをテーマとしています。今年度はまだ始まったばかりですが、スマートフォンやタブレットPC用のアプリ開発、クラウドサービスの仕組みや利用方法についての調査を行なっていく予定です。



## ビジネス実務学科 春季インターンシップ報告



平成24年12月から就職活動が解禁となり、徐々に就活モードに入りつつあるビジネス実務学科1年生(現2年生)。2月下旬から3月末までの春休み期間、インターンシップに計41名の学生が取り組みました。

インターンシップに参加しておく、それまで外部からしか見ていなかった業種や職種の内容を直に体験でき、自分のイメージに合

うか、適性はあるかなどが判断できるとともに、その後の就職先選びに大いに役立ちます。また、企業担当者に学生が直接アポイントメントを取って訪問、打ち合わせを行うことで、就職活動に必要なスキルも身につきます。

4月1日には、参加学生全員と担当教職員でインターンシップにおいて取り組んだ業務内容や学んだこと、今後スキルアップが必要と感じたことなどについて報告会を行いました。全員が一回り成長した面持ちで、充実した実習期間を過ごしたことを報告していました。今回の経験が、今後の就職活動に大いにプラスとなってくれることを期待しています。

# 美術学科卒業制作展



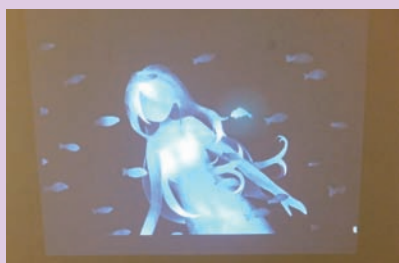
高田 望  
「雨の夜」



秋田 真希  
「赤ちゃんが生まれた」



松本 和奈  
「電波少年」



鶴見 奈々  
「Den lille Havfrue」



小杉 麗子  
「帰ってきた彼がちよっとアレだった。」



東野 祥子  
「妖~ayakashi~」

## 平成24年度 美術学科卒業制作展

- 優秀賞**
- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 鶴見 奈々 (デザイン・映像)    | Den lille Havfrue |
| 東野 祥子 (デザイン・映像)    | 妖~ayakashi~       |
| 秋田 真希 (ファッション・工芸)  | 赤ちゃんが生まれた         |
| 小杉 麗子 (マンガ・キャラクター) | 帰ってきた彼がちよっとアレだった。 |
| 松本 和奈 (マンガ・キャラクター) | 電波少年              |
| 高田 望 (油画・日本画)      | 雨の夜               |
- 努力賞**
- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 熊谷 苑佳 (デザイン・映像)    | Constellation |
| 斉藤 更紗 (デザイン・映像)    | パラレルワールド      |
| 河崎 祥子 (ファッション・工芸)  | Hello evening |
| 大嶋 瞳 (マンガ・キャラクター)  | 金沢のいいところ      |
| 保坂 彩美 (マンガ・キャラクター) | 折り神           |
| 池田 涼香 (油画・日本画)     | 紅葉踏み分け鳴く鹿の    |
- 研究生優秀賞**
- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 生田 紗貴 (マンガ・キャラクター) | 月下のユウウツ王子 |
| 竹倉綾由香 (マンガ・キャラクター) | ワンパパ      |
| 澤 祥子 (油画・日本画)      | Twinkle   |

### 大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>

テレメール/資料請求受付 (24時間)

●音声ガイダンスに従って資料番号を入力して下さい。  
IP電話 058-8601-0101

●資料請求番号 160794 2~3日程で資料が届きます。  
※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡下さい。

金城大学短期大学部同窓会 <http://www.kinjo-dosokai.jp/>



KINJO

**編集後記** IT革命の波は、教育の現場においても大きな影響を及ぼしている。プロジェクトを使用した授業はもはや一般的なスタイルになってきているが、最近では電子黒板、学生の使う電子ノートといった機器も紹介されているし、米国では一流大学の講義がネットで公開されている。OHP、黒板、チョークに鉛筆、やがては我々教員も… (井)